

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		基金管理事業（財政調整基金積立金、減債基金積立金、施設整備事業基金積立金、地域づくり推進基金積立金）		担当課		財務課		(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度			
				担当係		財政係		活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)		
まちづくりプラン （基本目標） （個別目標） （施策） （基本目標） （施策）	振興計画体系	7	<行財政>市民とともに歩む「ムダ」のない経営	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	運用により増加した基金の額	千円	2,798 4,834	3,292 2,739	2,715 67,056	5,000	5,000	5,000
		2	健全な財政運営が推進されるまち	主な費目	積立金		イ	一般財源から積立てた額	千円	4,000 68,139	4,000 1,370,168	4,000 763,560	204,000	204,000	200,000			
	総合戦略	1	健全で安定した財政運営の推進	対象	特定目的基金		成果指標（成果・効果）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)		
		4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	R5	年度～ 年度（1年間）	ア	管理している基金総額	百万円	3,425 4,583	3,425 5,892	4,440 6,572	5,000	5,000	5,000			
		3	公共施設最適化プロジェクト				イ	将来負担比率	%	20.0 15.3	20.0	7.4	7.4	7.4	7.4			
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価									
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	国県支出金	千円						有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	財源調整や特定の公共サービスの達成のために基金を活用しなければ予算編成ができない。							
		その他特定財源	千円	80,834	78,739	82,856	79,500	79,500										3,500
		一般財源	千円	68,139	1,367,429	763,560	204,000	204,000										200,000
		事業費計 (A)	千円	148,973	1,446,168	846,416	283,500	283,500										203,500
		所要人員 (年間)	人	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025										
		人件費概算 (B)	千円	140	140	140	140	140										0
	(A) + (B)	千円	149,113	1,446,308	846,556	283,640	283,640	203,500	効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	事務事業評価が進むことで、真に必要な事業の選択、優先度等が明らかになれば、繰入金が減額され、基金の持続的な運用が可能となる。							
(2) 事業概要		事業目的	・各基金条例に基づき資金を積み立て、将来にわたり持続可能な財政運営を図る。															
		事業内容	・地方自治法第241条第1項の規定により、特定の目的のために積み立てた基金（地域づくり推進基金（主に地域活性化のための基金）、施設整備事業基金（施設の大規模改修等のための基金）等）を銀行等の定期預金に積み立てている。利子は、歳入として受け入れ、基金会計に歳出として積み立てる。															
		開始経緯	・合併特例債を活用した基金造成は、平成25年度から平成29年度まで2億5千万円/年、平成30年度から令和6年度まで8千万円/年を積み立てることとしている。															
		実施状況	各基金の積立額等 (1) 財政調整基金 積立額 3,529,595円（財源 預金利息 521,747円、配当金 3,007,848円） (2) 減債基金 積立額 531,571円（財源 預金利息 208,003円、配当金 323,568円） (3) 施設整備事業基金 積立額 760,872,282円（財源 預金利息 388,306円、配当金 923,976円、一般財源 759,560,000円） (4) 地域づくり推進基金 積立額 81,482,059円（財源 預金利息 644,411円、配当金 837,648円、合併特例債 76,000,000円、一般財源 4,000,000円）							達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢・環境の変化 ・事業期間	将来にわたり持続可能な財政運営を図るため、基金残高を増加させる必要があるため、資金運用等による積立金の確保、真に必要な事業の選択等による繰入額の抑制を引き続き行っていく必要がある。						
		成果	・合併特例債を活用し、地域づくり推進基金に8千万円積み立てたこと等により、将来にわたり持続可能な財政運営が図られた。また、公共施設の将来にわたる維持管理等を図るため、施設整備事業基金に760,872,282円積み立てることができた。															
		課題	・令和5年度に庁舎整備事業基金を設置した。本市における適正な公共施設の規模等について引き続き検討を行うとともに、必要となる経費と積立額についても検討していく必要がある。							改革 改善案	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了							

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		市債管理事業		担当課	財務課					(3) 指標の推移													
				担当係	財政係					活動指標 (実施状況)	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度						
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(目標)		(実績)		(目標)		(実績)					
まちづくりプラン (基本目標)		7	<行財政>市民とともに歩む「ムダ」のない経営	予算科目	1	12	1	1	公債費 (元金)	ア	市債発行 (予定) 額	百万円	2,405	2,400	2,400	2,200	2,200	2,200					
(個別目標)		2	健全な財政運営が推進されるまち	主な費目	1	12	1	2	公債費 (利子)	イ	償還額 (元金)	百万円	2,405	2,400	2,596	2,594	2,254	2,254					
(施策)		1	健全で安定した財政運営の推進	対象	市債					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)						
(基本目標)		4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	R5 年度～年度 ( 1 年間)					ア	市債発行 (予定) 額 / 市債償還 (予定) 額	%	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0					
(施策)		3	公共施設最適化プロジェクト		イ	実質公債費比率	%	10.2	10.1	9.5	9.5	9.5	9.5										
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価														
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価														
年間トータルコスト	事業費	千円							有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズ</li> <li>事業の効果</li> <li>政策との整合性</li> <li>事業を廃止の影響</li> <li>類似事業との連携</li> <li>公平性</li> </ul>													
	財源内訳	千円	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000																
	国県支出金	千円																					
	その他特定財源	千円	2,568,482	2,618,147	2,682,415	2,752,458	2,326,604																
	一般財源	千円	2,608,482	2,658,147	2,722,415	2,792,458	2,366,604	0															
	事業費計 (A)	千円	2,608,482	2,658,147	2,722,415	2,792,458	2,366,604	0															
	所要人員 (年間)	人	0.350	0.350	0.350	0.350	0.350	0															
人件費概算 (B)	千円	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960	0																
(A) + (B)	千円	2,610,442	2,660,107	2,724,375	2,794,418	2,368,564	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業効果向上</li> <li>事業費削減</li> <li>事務の効率化</li> <li>費用対効果</li> <li>財政負担の必要性</li> <li>関係者との連携</li> </ul>														
(2) 事業概要																							
事業目的	・普通建設事業等の財政負担を一時的に市債を活用することにより、後年度の財政負担を平準化し、市の健全な財政運営を図る。															効率性評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象事業の選定や財政措置のある有利な市債を選択し、当該年度の元金償還額を上回る借入れを行わない。</li> </ul>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課等が実施する事業（主に普通建設事業等）の性格、事業量において資金調達し、適切かつ柔軟な資金を配分する。</li> <li>長期的な償還計画に基づいた予算を編成し、地方債を償還する。</li> </ul>																						
開始経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方自治法第230条により、地方債を起す。</li> <li>地方公共団体の資金調達を円滑に行うため、制度化されたものである。</li> </ul>															達成度評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>借入、償還のバランスを考え安定した財政運営を図れている。</li> </ul>						
実施状況	借入額		償還元金																				
	令和4年度	1,690,966千円	2,593,201千円																				
	令和3年度	2,049,881千円	2,553,067千円																				
	令和2年度	2,217,442千円	2,477,499千円																				
成果	・事業の適債性の確認、収支及び公債費とのバランスを図りながら、市債発行の抑制に努められた。								改革改善案	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了													
課題	合併特例債の発行期限が令和7年度までで、発行限度額に近づいている。合併特例債の発行終了後の市債の活用を検討していかなければならない。																						

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		水道事業会計運営補助事業					担当課		(3) 指標の推移														
							財務課		財政係					活動指標 (実施状況)		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
							担当係				(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)							
							会計		単		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)							
							項目		位														
							備考		単														
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち					予算科目	1	4	1	1	保健衛生総務費	ア	水道事業会計への補助金の額	千円	52,372	43,895	39,849	42,501	41,920	45,000	
(個別目標)	2	安全で安定した水が確保されるまち					主な費目	負担金、補助及び交付金									イ						
(施策)	1	良質で安定した水の供給					対象	水道事業会計 給水人口					成果指標 (成果・効果)		単	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
(基本目標)	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる											ア		普及率	%	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	
(施策)	3	公共施設最適化プロジェクト					事業期間	2 年度～ 年度 ( 年間)					イ		安定した水の供給 (施設利用率)	%	85.00	85.00	85.00	85.00	85.00	85.00	
(1) 総事業費の推移		単	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		(4) 評価		所管課による評価						
			(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)										
年間 事業 費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円													有 効 性 評 価	水道事業会計の経営の健全化及び経営基盤の強化を図ることによって安定した水の供給がなされる。							
	国県支出金	千円																					
	その他特定財源	千円																					
	一般財源	千円	52,889	43,775	40,203	42,638	41,920																
	事業費計 (A)	千円	52,889	43,775	40,203	42,638	41,920	0															
	所要人員 (年間)	人	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	0															
人件費概算 (B)	千円	140	140	140	140	140	0																
(A) + (B)	千円	53,029	43,915	40,343	42,778	42,060	0																
(2) 事業概要																							
事業目的	上水道事業及び簡易水道事業の建設改良費等の一部を一般会計から繰出基準に基づき支出することにより、水道事業会計の健全化を保持し、経営基盤の強化を図る。																						
事業内容	上水道事業及び簡易水道事業の建設改良費等の一部を一般会計から繰出基準に基づき支出する。																						
開始経緯	簡易水道事業 (旧松山、旧有明) と上水道事業 (旧志布志) を水道事業会計で展開している。平成28年度に6つの簡易水道を事業統合し、経営の効率化及び経営基盤の強化を図った。																						
実施状況	(1) 消火栓の管理に要する経費		1,617千円		(2) 企業債に係る元利償還金の2分の1		29,265千円		(3) 簡易水道の建設改良費の10%		10,680千円		(4) 児童手当に要する経費		1,076千円								
成果	公営企業会計の健全化を保持し、経営基盤の強化が図られた。																						
課題																							
		拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了													
		改革改善案																					

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		連結財務諸表作成業務事業		担当課	財務課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係	財政係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
		振興計画体系	7	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	資産	百万円	81,764 81,764	84,424 84,424				
(個別目標)		2	健全な財政運営が推進されるまち	主な費目	委託料						イ	負債	百万円	24,731 24,731	24,315 24,315			
(施策)		1	健全で安定した財政運営の推進	対象	市の決算					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
(基本目標)		4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる							ア	純行政コスト (△)	百万円	25,614 25,614	23,672 23,672				
(施策)		3	公共施設最適化プロジェクト	事業期間	R5 年度～ 年度 ( 1 年間)					イ	期末純資産残高	百万円	57,033 57,033	60,109 60,109				
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価							
年間 トータル コスト	事業費	国県支出金	千円						有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	・市の財政状況が明確化され、中長期的な財政運営への活用の充実が期待できるため、健全な財政運営のため予算編成に活用できる。							
		その他特定財源	千円															
		一般財源	千円	2,860	2,860	2,860	3,013	3,013										
		事業費計 (A)	千円	2,860	2,860	2,860	3,013	3,013									0	
		所要人員 (年間)	人	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100										
		人件費概算 (B)	千円	560	560	560	560	560									0	
	(A) + (B)	千円	3,420	3,420	3,420	3,573	3,573	0										
(2) 事業概要																		
事業目的	連結財務諸表の作成を行い、持続可能な財政基盤の確立を図るとともに市民に対し分かりやすい説明を行う。																	
事業内容	貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書の4表の整備を総務省改訂モデルにて作成していたが、平成28年度決算から統一的な基準に基づく財務書類を作成し、市民に対して公表を行い、市財政の健全化を図る。																	
開始経緯	・平成20年度 (19年度分) の決算から新財務4表の作成・公表を実施した。併せて国は、公会計の整備推進について平成19年度に、「人口3万人以上の都市は、3年後までに貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書の4表の整備又は4表の作成に必要な情報の開示に取り組む。」こととした。																	
実施状況	(1) 連結財務諸表作成 (2) 財務分析の実施																	
成果	一般会計、特別会計、水道事業会計、一部事務組合、広域連合、第3セクター等を含めた連結財務4表を作成し、ホームページで公表することで、財政の効率化及び適正化が図られた。																	
課題																		
				拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了						
		改革改善案																

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		財務会計システム運用事業					担当課	財務課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度						
							担当係	財政係							活動指標 (実施状況)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)			
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画体系	7	<行財政>市民とともに歩む「ムダ」のない経営					予算科目	会計	1	2	1	1	備考	1	200	200	200	200	200	200					
(個別目標)	2	健全な財政運営が推進されるまち					主な費目	委託料、使用料及び賃借料					イ													
(施策)	1	健全で安定した財政運営の推進					対象	職員					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)					
(基本目標)	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる											事業期間	R5 年度～ 年度 ( 1 年間)					ア	システム不具合件数	件	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
(施策)	3	公共施設最適化プロジェクト																								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)		3年度 (実績・決算)		4年度 (実績・決算)		5年度 (計画・予算)		6年度 (計画・予算)		7年度 (計画・予算)		(4) 評価		所管課による評価									
年間 トータル コスト	事業費	千円												有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズ</li> <li>事業の効果</li> <li>政策との整合性</li> <li>事業を廃止の影響</li> <li>類似事業との連携</li> <li>公平性</li> </ul>											
	財源内訳	千円																								
	国県支出金	千円																								
	その他特定財源	千円																								
	一般財源	千円	5,665	8,026	8,026	8,026	8,026	8,026	0																	
	事業費計 (A)	千円	5,665	8,026	8,026	8,026	8,026	8,026	0																	
人件費	人	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	0																		
所要人員 (年間)	人	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	0																		
人件費概算 (B)	千円	140	140	140	140	140	140	0																		
(A) + (B)	千円	5,805	8,166	8,166	8,166	8,166	8,166	0																		
(2) 事業概要																										
事業目的	財務会計システムの保守管理委託等を行い、財務事務（予算、契約、出納管理等）処理の効率化を図る。																									
事業内容	財務会計システムのリースとシステムの保守管理業務を委託する。																									
開始経緯	全庁的に及ぶため、システムを管理・運用することで業務の効率化を図る。																									
実施状況	(1) 財務会計システムのリース（予算、契約、出納管理等） (2) 財務会計システムの保守管理																									
成果	財務会計システムの保守管理・運用することにより、財務事務（予算、契約、出納管理等）処理の効率化が図られている。																									
課題																										
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:10%;">拡充</td> <td style="width:10%; text-align: center;">○</td> <td style="width:10%;">現状維持</td> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:10%;">改善</td> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:10%;">効率化</td> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:10%;">廃止終了</td> </tr> </table>																		拡充	○	現状維持		改善		効率化		廃止終了
	拡充	○	現状維持		改善		効率化		廃止終了																	
改革改善案																										